

平成30年度教育研究活動報告書

氏名	小畑拓也	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士(文学)	職位	准教授
専門分野	アメリカ文学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	文章表現法入門、欧米文学概論、欧米文学講義、比較文学、文芸創作入門Ⅰ、欧米文学専門演習a、欧米文学専門演習b、エディトリアルデザイン
大学院	日本文学・言語文化総論
II 研究活動	
現在の研究テーマ(3つまで)	
(1) テクノロジーによって揺れる人間観を中心に据えたSF読解	
(2) テクノロジー、メディア、文学の交点	
(3) 娯楽性を中心に考える「文学」の境界線	
本年度を含む過去3年間の研究業績 H30・H29・H28(件数は追加可)	
H30 <学会発表> 「融合と転生--SF的異類婚姻譚と視覚映像文化の現在」 2018年10月28日 鳥取大学 日本英文学会中四国支部第71回大会シンポジウム「人間性の更新」司会・講師：島克也(安田女子大学)、講師：中山悟視(尚絅学院大学)、講師：小畑拓也(尾道市立大学)、講師：萬屋博喜(広島工業大学) <パネリスト発表> 「合体、変身、進化の行方」 2018年7月21日 水上温泉ホテル聚楽 第57回日本SF大会パネルディスカッション「『視覚映像文化とSF』の部屋--モンスター」コーディネーター・パネリスト：中垣恒太郎(専修大学)、パネリスト：CJ鈴木(ニューヨーク市立大学)、パネリスト：小畑拓也(尾道市立大学)	
H29 <パネリスト発表> 「共生体の時間」(第56回日本SF大会[2017年8月26日 静岡県静岡市駿河区 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ]参加のパネル・ディスカッション「『視覚映像文化とSF』の部屋--死/不死」[コーディネーター・パネリスト：中垣恒太郎(大東文化大学)、パネリスト：イリーナ・オリガ(筑波大学)、パネリスト：小畑拓也(尾道市立大学)])	
H28 <パネリスト発表> 「最終戦争の向こう側」(第55回日本SF大会[2016年7月9日・10日 三重県鳥羽市温泉旅館戸田家]参加のパネル・ディスカッション「『視覚映像文化とSF』の部屋--ポストアポカリプスの風景」[コーディネーター・パネリスト：中垣恒太郎(大東文化大学)、パネリスト：小畑拓也(尾道市立大学)])	
H27以前の主な研究業績(件数は追加可)	
(1) 「『ウォルドウ』というメディア——「いま、ここ」にある物語を読む手がかりとしての拡張現実とサイボーグ——」『英米文学の可能性——玉井暉教授退職記念論文集——』(英宝社、2010年3月) 747-758頁 <論文>	
(2) 「見えないロボット——ハインラインのポストヒューマンな世界」『S-Fマガジン2011年4月号』(早川書房、2011年2月) 217-223頁 <その他>	
(3) グレゴリー・クレイズ『ユートピアの歴史』(東洋書林、2013年7月 監訳：巽孝之 原著：Gregory Claeys, <i>Searching for Utopia: The History of an Idea</i> [2011]) 本文・コラム・図版キャプション翻訳担当 (3-309頁) <翻訳>	
(4) 『マクルーハンとヴァーチャル世界』(岩波書店、2005年4月) <翻訳>	
(5) 「タイムマシンとサイボーグ—自己統御幻想とアメリカSF」『尾道大学芸術文化学部紀要3号』(2004年3月) 63-72頁 <論文>	
学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績) H28・H29・H30	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
日本英文学会、日本アメリカ文学会、大阪大学英文学会、尾道市立大学日本文学会、Science Fiction Research Association	
IV 社会活動	
1. 学外活動(本年度1年間の活動状況) (件数は追加可)	
(1) おのみち文学三昧司会担当(2018年12月8日 しまなみ交流館大ホール)	